

2018 年度明治大学 国際化サポート海外留学奨励金報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	アメリカ海外短期研修
報告書	
<u>日本語 500 字程度</u>で、留学の成果や留学前後でどのような意識の変化があったか、奨励金を受給したメリットについても踏まえてご記入ください。※本学広報誌等へ掲載させていただく場合、書面上の文字数制限等の理由から内容を編集させていただきます。予めご了承ください。 現在、外国人居住者及び労働者の増加が急務です。それには海外渡航者を増やすことで現地のニーズを知り需要ある商品を作り出す必要があります。また、日本に来たいと思う外国人を増やさなくてはなりません。その過程の一つに今回の海外インターンシップがあります。 インターンシップ中では、日本企業のアメリカでの認知、および日本人の海外渡航者の増加方法という二点のテーマを考えました。その中で、難しいながらもニーズに沿った商売をする方法を考えることができました。 今回、私は奨励金をいただいたことで、この研修に参加することができました。現地では多くの場所に赴き、業務や観光をしたりと多くの活動に取り組みました。現在は、ここで得た経験を伝えていくことが私自身の責務であると考えています。 また、新たな気づきと出会いもありました。渡航前は院進学か、就職かを悩んでいました。しかし、研修中 NASA の方に相談したところ、進学を後押ししてくださいました。また、道中でたまたま出会った人と仲良くなったことも、自分への自信につながりました。人とつながることのすばらしさに気が付き、これからも日本と海外を伝えていく仕事をしていきたいと再確認しました。 最後にはなりますが、この度は奨励金を受給させていただきありがとうございました。	
写真貼付 (1 枚)	
 ※研修先で撮影した写真を 1 枚 (1MB 以内) ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。 研修帰りにたまたまバスで一緒になった人と、道端で歩きながら一緒に帰った。後日、研修前にたまたまスターバックスに立ち寄ろうとした時に再会。フェイスブックを交換し、今でも交流があります。	
【写真提供の注意事項】 ※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。	

2018 年度明治大学 国際化サポート海外留学奨励金報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	アメリカ・インターンシップ
-----	---------------

報告書

日本語 500 字程度で、留学の成果や留学前後でどのような意識の変化があったか、奨励金を受給したメリットについても踏まえてご記入ください。※本学広報誌等へ掲載させていただく場合、書面上の文字数制限等の理由から内容を編集させていただくことがあります。予めご了承ください。

約1ヶ月という研修期間に、ビジネスプログラムやインターンシップ、現地の学生との交流やホームステイなど豊富で濃密な経験ができました。普段接する機会の少ない社会人の方に勉強になる話をたくさん聞いたり、実際に企業でインターンシップを体験して細かな作業の裏側を学べたりし、仕事に対する責任を持つことの重要性を学ぶことができました。

ホームステイや現地の学生との交流は全て英語で行われ、自分の話す英語が正しいのか不安に思い最初は閉鎖的であったものの、英語を話さなければ基本的な意思疎通でさえ量れないと痛感し、恥を捨て自ら積極的に現地の方とコミュニケーションをとりました。そのおかげでフレンドリーになり、一度会っただけの現地の方とも友人関係になり、英語を話す楽しさを感じることができました。

奨励金制度を受給できたことにより、今回の研修の参加の決め手になった理由でもありますし、今後も新たな研修やプログラムに参加する際は、奨励金制度があるとより身近になり積極的に参加したいと考えます。

知人もおらず全く知らない土地で過ごした1ヶ月の研修は精神的に自立させ、将来自分が目指したいものを見つけさせてくれる貴重な経験になったので、今回の研修に参加できて非常に良かったと考えました。

写真貼付（1 枚）

※研修先で撮影した写真を1枚（1MB 以内）ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。



【写真提供の注意事項】

※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。

2018 年度明治大学 国際化サポート海外留学奨励金報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名

アメリカインターンシップ 2018

報告書

今回の研修を通して私は自分からアクションを起こすことの大切さを学ぶことができました。インターンシップにおいても英語の上達に関しても自分から行動を起こさなければ何も得ることはできないことを感じました。積極的に自分から様々なことに取り組むことによって最初はできないことも繰り返すことによってできるようになることを学びました。その経験から私は「やったことないからできない」ではなく「やったことないからやってみる」という考えに変わることができたと思います。

そして、同時に視野を広く持って柔軟に考えることの大切さも学びました。幅広い視野を持つことができればチャンスに気づくことができることに加えて危険にも対処することができます。更に柔軟に考えることで失敗を次につなげることができると感じました。これから、今回の研修で感じたこの考えを大事にして生活していきたいと思っています。

また、この研修に申し込む決め手となったのが奨学金です。奨学金制度が無ければ自分はこのプログラムに参加することはできなかったと思います。奨学金を受給してこのプログラムに参加したことで自分の考えや価値観が大きく変わり研修前よりも成長した自分になれたと感じています。

写真貼付（1 枚）

この写真はインターンシップ先の企業のツアーに同行させていただきサンタモニカビーチに行ったときにアメリカ横断することのできるルート 66 の最終地点であることを示す看板で撮った写真です。



【写真提供の注意事項】

※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。

2018 年度明治大学 国際化サポート海外留学奨励金 報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	アメリカ短期海外実習
報告書	
今回のこの短期海外実習では、アメリカで働く日本人の方、現地学生の方と交流をしてお話を聞かせていただき、そして実際にインターン生として企業での研修に参加させていただきました。現地で働いている方との交流では、聞かせていただいたどのお話も日本にいては決して聞くことが出来ないような内容でとても為になりました。私自身、将来世界に飛び出して働きたいと考えているので、私と同じ考えを持ち、そして実際に世界を舞台に働いている方のお話を聞けたということはこの実習をして本当に良かったと思いました。現地学生との交流では、私と同年代の方と自分の価値観や将来像について話し合いました。どの方も自分の未来に明確な目標を持っていて、今はその目標に向かって努力しているということを話していました、しっかり未来を見据えて努力している彼らと違い、何となく毎日を過ごしている自分が恥ずかしくなりました。私は一年生ということもあり、これからの大学生活はまだ多く残されているので、これからは自分の目標に向かって彼らのように精一杯の努力をしたいと思います。また、この留学に関して両親は共に賛成してくれましたが、私は大学に来るために上京してきたため留学の費用で両親に経済的な面でこれ以上迷惑をかけたくはありませんでした。奨励金をいただけたことで両親への経済的負担が減ったこと、そして一年生の中からこのような経験が出来たことは本当に良かったです。	
写真貼付（1 枚）	
	
グリフィス天文台から撮影したロサンゼルス夜景です。	
【写真提供の注意事項】 ※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。	

2018 年度明治大学 国際化サポート海外留学奨励金報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	アメリカ・インターンシップ
報告書	
<u>日本語 500 字程度</u>で、留学の成果や留学前後でどのような意識の変化があったか、奨励金を受給したメリットについても踏まえてご記入ください。※本学広報誌等へ掲載させていただく場合、書面上の文字数制限等の理由から内容を編集させていただくことがあります。予めご了承ください。 今回アメリカインターンシッププログラムに参加して、自分の中でたくさんの変化があった。一番の大きな変化は、自分のキャリアデザインに対する考え方である。これまでは、周りの意見や一般論、固定観念にとらわれて、行動を起こせずに時を過ごしてきた。しかし、アメリカで出会った人たちは皆、他人の意見に左右されず、自由に自分の人生を歩んでいることに気づき、衝撃を受けるとともに、自分のやりたいことを追求することの重要性を学んだ。自分の興味関心に従って、やりたいことを追求し続けることが結果的に自分のキャリアを形成していくのだと思った。そして、同時に、大学生の時間というものがいかに貴重なものかを学んだ。社会人になったら組織に自分の時間を捧げないといけないので、自分がやりたい勉強は睡眠や遊ぶ時間を削ってやらないといけないと思った。このことは私に、大学生のうちに留学やインターンをしておいた方がいいという考えをより強くさせた。 一方、インターン先で出会った現地のアメリカ人学生やホームステイ先で出会ったルームメイトと英語で会話していくうちに、留学したら同世代の仲間たちとこんな感じで毎日過ごすのかというクリアなイメージを持てるようになった。友達と英語で話すことは自分にとって有意義な時間であったし、何よりとても楽しいと感じることができた。これは、自分の英語にとっても自信がなく、英語を話すことに抵抗を感じていた私にとって、とても大きな成長だった。また、それとともに留学への前向きな思考が生まれた。より長期で現地の友達と過ごしながら、自分の勉強もしたいと思うようになった。 今回奨学金を受給したことは私にとって大きかった。両親と話し合った結果、このプログラムに参加する条件は現地での生活費を含む諸費用を自分で払うことだったからだ。特に出発前は検定試験の受験料やESTA、ケータイのSIM レンタル、インターン用の衣類などで出費がかさんだので、奨学金によって補填した。奨学金がなければプログラムに参加できなかったと思う。	
写真貼付 (1 枚)	
※研修先で撮影した写真を 1 枚 (1MB 以内) ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。JASSC オフィスにて、同期のインターン生との記念写真 	
【写真提供の注意事項】 ※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。	

2018 年度明治大学 国際化サポート海外留学奨励金報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	アメリカインターンシップ
報告書	
<u>日本語 500 字程度</u>で、留学の成果や留学前後でどのような意識の変化があったか、奨励金を受給したメリットについても踏まえてご記入ください。※本学広報誌等へ掲載させていただく場合、書面上の文字数制限等の理由から内容を編集させていただくことがあります。予めご了承ください。 今年の春休み期間中に初めて渡米し多くの刺激を受けたことで、米国で就業体験をしたいと強く感じた。そして五月ごろにインターンの募集がかかった時は、迷わず行きたいと感じた。ただ、今回は自費での参加になり、常に金銭面での負担が私にのしかかった。そういう意味では、奨学金なしでは今回のインターンシップは実現しなかった。自費ということもあり、現地では高い意識を持ち続けることができ、一日一日の価値を意識しながら日々を過ごせたことで、多くのことを知り吸収できたと思う。例えば、淡々と言われたことをこなすのではなく、常に付加価値をつけて仕事をこなすといった工夫を、日々の生活の中で意識するようになった。 生活の中で、日本との差異や米国の独自性という視点からアンテナを張って物事を見ることで、新たな気づきや発見があった。独自性や創造性豊かな製品や建築を数多く見て、それらが次々と生まれる米国の土壌もなんとなく知ることができた気がする。米国は多様性溢れる国だと言われる。それは人種だけでなく、風変わりな主義や主張をも受容する寛大さであると思うのだ。保守的な考えよりも、ちょっとぐらいズレてる方が面白いと思える寛大さが思考の根底にあると感じた。	
写真貼付（1 枚）	
※研修先で撮影した写真を 1 枚（1MB 以内）ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。 サンタモニカに観光に行き、ビーチから少し離れたところを歩いているときに路上でギター片手に弾き語りをしていた。正直私は洋楽に疎いのだが、そんな私でさえ知っている曲を演奏していて目に留まった。歌唱力もさることながら、シアトルからロスまで出てきて夢を追っているということで、少しでも力になればと思いチップを渡した。この写真はライブ終了後、少し会話をした後に撮ってもらった一枚である。将来お互い国は違えど、世界に羽ばたけるほどの活躍ができればと思いこの一枚を選んだ。	
【写真提供の注意事項】 ※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。	

2018 年度明治大学 国際化サポート海外留学奨励金報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	アメリカ・インターンシップ
報告書	
私は、海外で働き生計を立てることを目標としています。そのため、語学留学のような日本で働くことを前提としたスキルアップではなく、より実践的で働くという意識をもつために今回のプログラムへの参加を決意しました。現地では、印刷業、グラフィックデザインのお仕事を経験したのですが、仕事から何かを学んだというよりは、職場の上司との会話やビジネススタイルを自ら学びに行くことで、日本の労働環境に依存していた自分気付くことができたり、また、反対にカリフォルニアの特殊な一面を知れたり、自分の世界をとらえる視野が広がりました。そういった経験をしたため、海外で働きたいという漠然とした目標から今度はどこの国が良いか、それに向けて必要なことはどのような計画を立てるのかといったことを考えるようになりました。このようなプログラムとそれに対する奨励金なくしてはここまで考えを深めることができなかったと思うので、参加してよかったと思いました。	
写真貼付（1 枚）	
※研修先で撮影した写真を 1 枚（1MB 以内）ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。  研修をともに頑張った学生と LCE の方々との写真。素敵な仲間と出会えたのもとても良かったです。	
【写真提供の注意事項】 ※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。	